

小学校・中学校・高等学校向けアンケート調査票（案）

資料3-3

No.	設問	選択肢	備考
Ⅰ 基本情報			
問 1	ご回答された方の役職を教えてください。 （あてはまる番号 1 つに○）	1：校長 2：副校長、教頭 3：主幹、主任教諭 （具体的に： ） 4：養護教諭 5：スクールソーシャルワーカー（SSW） 6：スクールカウンセラー（SC） 7：その他	
問 2	貴校の学校区分を教えてください。 （あてはまる番号 1 つに○）	1：小学校 2：中学校 3：高等学校 ①課程：全日制・定時制・通信制 ②単位性の有無：あり・なし	
問 3	貴校の所在する市町を教えてください。	(25市町)	
問 4	中学校については中学 2 年生、高等学校については高校 2 年生の人数について教えてください。 （令和 4 年 7 月 1 日時点）		
Ⅱ 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。			
問 5	SSW、SCの派遣・配置状況をお伺いします。		
	① SSWの派遣・配置状況 （あてはまる番号 1 つに○）	1：週に 2 ～ 3 回以上派遣・配置されている 2：週に 1 回程度派遣・配置されている 3：月に数回以下で派遣・配置されている 4：要請に応じて派遣される 5：その他（ ） 6：派遣・配置されていない	
	② SCの派遣・配置状況 （あてはまる番号 1 つに○）	1：週に 2 ～ 3 回以上派遣・配置されている 2：週に 1 回程度派遣・配置されている 3：月に数回以下で派遣・配置されている 4：要請に応じて派遣される 5：その他（ ） 6：派遣・配置されていない	
問 6	支援が必要と思われる子どもや気になること もについて、入学前に幼稚園・保育所、小学校、中学校から、主にどのような引き継ぎがありますか。 （あてはまる番号すべてに○）	1：登校状況など、前の学校等での様子 2：子ども本人の発達特性 3：保護者の病気や障がいの状況 4：家族構成、家庭環境 5：経済的状況 6：要保護児童対策地域協議会（要対協）への登録状況 7：関わりのある外部機関 8：その他（ ） 9：引き継ぎはないことが多い	独自質問
問 7	子どもについて校内で共有しているケースはありますか。 （あてはまる番号すべてに○）	1：学校を休みがちである 2：遅刻や早退が多い 3：保健室で過ごしていること 4：精神的な不安定さがある 5：身だしなみが整っていない 6：学力が低下している 7：宿題や持ち物の忘れ物が多い 8：保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9：学校に必要なものを用意してもらえない 10：部活を途中でやめてしまった 11：修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12：校納金が遅れる、未払い 13：その他（ ）	
問 8	問7のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。 最も多いケースでご回答ください。 （あてはまる番号 1 つに○）	1：不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している→問 9 へ 2：不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している→問 9 へ 3：個別に対応している（決まった検討体制はない）→問10へ	
問 9	問8で「1：不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」「2：不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。 校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。		

No.	設問	選択肢	備考
	① 情報共有・対応の検討の方法等 (あてはまる番号すべてに○)	1 : スクリーニング会議※ 2 : ケース会議 3 : 生徒指導部・委員会など 4 : 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有 5 : 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名 6 : その他 ()	
	※ すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐため迅速な識別を行う会議		
	①で「1「スクリーニング会議」「2: ケース会議」「3: 生徒指導部・委員会など」「6: その他」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。また会議の頻度はどのくらいですか (あてはまる番号を記入)		
		参加者 / 頻度	
	1 : スクリーニング会議		
	2 : ケース会議		
	3 : 生徒指導部・委員会		
	4 : その他		
	〈参加者: 選択肢〉 1 : 校長 2 : 副校長・教頭 3 : 学年主任 4 : 担任教諭 5 : 生徒指導教諭 6 : 養護教諭 7 : SSW 8 : SC 9 : 外部の関係機関 () 10 : その他 ()	〈頻度: 選択肢〉 1 : 2週間に1回以上 2 : 月に1回程度 3 : 半年に1回程度 4 : 年に1回程度	
問10	問8で「3: 個別に対応している」と回答した方にお伺いします。問7のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法頻度等について具体的に教えてください		
問11	問7のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。 (1つに○)		
	① 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	1 : ある 2 : 特にない	
	② 不登校ケース	1 : ある 2 : 特にない	
	③ それ以外	1 : ある 2 : 特にない	
	〈連携する関係機関がある場合: 選択肢〉 1 : 市町教育委員会 2 : 市町の福祉部門 (4を除く) 3 : 市町の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門 5 : 教育支援センター (適応指導教室) 6 : フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設 7 : 児童相談所 8 : 民生委員 9 : 病院 10 : 警察や刑事司法関係機関 11 : その他 ()		
Ⅲ ヤングケアラーについてお伺いします			
問12	貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか (あてはまる番号1つに○)	1 : 言葉を知らない→問15へ 2 : 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない→問15へ 3 : 言葉は知っているが、学校をしては特別な対応をしていない→問15へ 4 : 言葉を知っており、学校として意識して対応している→問13へ	

No.	設問	選択肢	備考
問13	問12で「4：言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか (あてはまる番号1つに○)	1：把握している→問14へ 2：「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない。→問15へ 3：該当する子どもはいない。(これまでもいなかった)→問15へ	
問14	問13で「1把握している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。 (あてはまる番号すべてに○)	1：アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている 2：特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している 3：その他()	
問15	ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。 ヤングケアラーとは「本来本人が担うと想定されている家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。ヤングケアラーの定義を踏まえて設問にお答えください		
	<p>ヤングケアラーはこんな子どもたちです</p> <p>家族にケアをする人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、送迎面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。</p>  <p> 1 障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・洗濯・掃除などを行っている 2 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている 3 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている 4 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている 5 家族の通訳をしている 6 家計を支えるために、アルバイト等を行っている 7 アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している 8 病気の家族の看病をしている 9 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている 10 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている 11 その他() </p> <p>※一級社会福祉士 日本ケアラー連盟 / Illustration : Izumi Shiga</p>		
	ヤングケアラーの定義を見て、現在貴校にヤングケアラーと思われる(可能性も含め)子どもはいますか。 (あてはまる番号1つに○)	1：いる→問16へ 2：いない→問18へ 3：分からない→問17へ	
問16	問15で「1：いる」と回答した方にお伺いします		
	① ヤングケアラーと思われる子どもの状況はどれですか。 (あてはまる番号すべてに○)	1：障がいや病気のある家族に代わり家事、(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている 2：家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている 3：家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている 4：目を離せない家族の見守りや声掛けをしている 5：家族の通訳をしている 6：家計を支えるために、アルバイト等を行っている 7：アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している 8：病気の家族の看病をしている 9：障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている 10 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている 11：その他()	
	② ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部(教育委員会、役所、要保護児童対策地域協議会など)の支援につないだケースはありますか。 (あてはまる番号すべてに○)	1：要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある→③へ 2：要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある→③へ 3：外部の支援にはつないでいない(学校で対応している)→④へ	
	③ ②で「1：要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」「2：要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部支援につないだケースがある」と回答した方にお伺いします。それぞれの該当する直近のケースについて1件ずつ教えてください。		
	ア 要保護児童対策地域協議会に通告したケース		
	性別	1：女性 2：男性 3：その他	
	学年	1：小学()年 2：中学()年 3：高校()年	

No.	設問	選択肢	備考
	学校生活の状況 (すべてに○)	1 : 学校を休みがち 2 : 遅刻や早退が多い 3 : 保健室で過ごしていることが多い 4 : 精神的な不安定さがある 5 : 身だしなみが整っていない 6 : 学力が低下している 7 : 宿題や持ち物の忘れ物が多い 8 : 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9 : 学校に必要なものを用意してもらえない 10 : 部活を途中でやめてしまった 11 : 修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12 : 校納金が遅れる、未払い 13 : その他 ()	
	家族構成 (すべてに○)	1 : 母親 2 : 父親 3 : 祖母 4 : 祖父 5 : きょうだい 6 : その他 ()	
	家族でのケアの状況 (すべてに○)		
	ア ケアの状況を把握している。 (あてはまる番号1つに○)	1 : はい 2 : いいえ	
	イ 「1 : はい」の場合、ケアの具体的な内容		
	a ケアを必要としている人 (あてはまる番号すべてに○)	1 : 母親 2 : 父親 3 : 祖母 4 : 祖父 5 : きょうだい 6 : その他	
	b ケアを必要としている人の状況 (あてはまる番号すべてに○)	1 : 高齢 (65歳以上) 2 : 若い 3 : 要介護 (介護が必要な状態) 4 : 認知症 5 : 身体障がい 6 : 知的障がい 7 : 精神疾患 (疑い含む) 8 : 依存症 (疑い含む) 9 : 7, 8以外の病気 10 : その他 () 11 : わからない	
	c ケアの内容 (あてはまる番号すべてに○)	1 : 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) 2 : きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3 : 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など) 4 : 外出の付き添い (買い物、散歩など) 5 : 通院の付き添い 6 : 感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど) 7 : 見守り 8 : 通訳 (日本語や手話など) 9 : 金銭管理 10 : 薬の管理 11 : その他 () 12 : わからない	
	ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ		
	要保護児童対策地域協議会への通告ルート		
	学校で行った支援 (要対協との連携も含めて)		
	支援した結果、子どもの変化		
	イ 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース。		
	性別	1 : 女性 2 : 男性 3 : その他	
	学年	1 : 小学 () 年 2 : 中学 () 年 3 : 高校 () 年	

No.	設問	選択肢	備考
	学校生活の状況（すべてに○）	1：学校を休みがち 2：遅刻や早退が多い 3：保健室で過ごしていることが多い 4：精神的な不安定さがある 5：身だしなみが整っていない 6：学力が低下している 7：宿題や持ち物の忘れ物が多い 8：保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い 9：学校に必要なものを用意してもらえない 10：部活を途中でやめてしまった 11：修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12：校納金が遅れる、未払い 13：その他（ ）	
	家族構成	1：母親 2：父親 3：祖母 4：祖父 5：きょうだい 6：その他（ ）	
	家族でのケアの状況（すべてに○）		
	ア ケアの状況を把握している。	1：はい 2：いいえ	
	イ 「1：はい」の場合、ケアの具体的な内容		
	a ケアを必要としている人 （あてはまる番号すべてに○）	1：母親 2：父親 3：祖母 4：祖父 5：きょうだい 6：その他	
	b ケアを必要としている人の状況 （あてはまる番号すべてに○）	1：高齢（65歳以上） 2：幼い 3：要介護（介護が必要な状態） 4：認知症 5：身体障がい 6：知的障がい 7：精神疾患（疑い含む） 8：依存症（疑い含む） 9：7、8以外の病気 10：その他（ ） 11：わからない	
	c ケアの内容 （あてはまる番号すべてに○）	1：家事（食事の準備や掃除、洗濯） 2：きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3：身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） 4：外出の付き添い（買い物、散歩など） 5：通院の付き添い 6：感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど） 7：見守り 8：通訳（日本語や手話など） 9：金銭管理 10：薬の管理 11：その他（ ） 12：わからない	
	ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ		
	つないだ機関		
	外部機関へのつながり方	1：市町教育委員会経由 2：学校から直接連絡 3：その他（ ）	
	学校で行った支援（要対協との連携も含めて）		
	支援した結果、子どもの変化		
	④ ②で「3：外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」と回答した方にお伺いします。外部の支援につながなかった理由を教えてください。また、どのように対応しているのか教えてください。		
	理由		
	対応方法		

No.	設問	選択肢	備考
	⑤ ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気をつけていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。		
	⑥ ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。		
	⑦ 問6の選択肢は「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。		削除
	ご意見		
	変更項目案		
	追加項目案		
問17	問15で「3:分からない」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。 (あてはまる番号すべてに○)	1: 学校において「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している 2: 不登校やいじめなどに比べて緊急度が低いいため「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる 3: 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい 4: ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない 5: その他()	
問18	ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。 (あてはまる番号すべてに○)	1: 子ども自身がヤングケアラーについて知ること 2: 教職員がヤングケアラーについて知ること 3: 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること 4: SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること 5: 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること 6: ヤングケアラーについて検討する組織を校内でつくること 7: 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること 8: 学校にヤングケアラーの支援について相談できる機関があること 9: ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること 10: 福祉と教育の連携を進めること 具体的に: 11: その他() 12: 特にない	
問19	ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。		